

カルジール細粒20%

<換算表> 投与量は細粒としての量(g)を示す

年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (g)	1日最高投与量 (g)	年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (g)	1日最高投与量 (g)
1ヶ月	4	0.20 ~ 0.30	1.20	6	20	1.00 ~ 1.50	6.00
	5	0.25 ~ 0.38	1.50		21	1.05 ~ 1.58	6.30
3ヶ月	6	0.30 ~ 0.45	1.80		22	1.10 ~ 1.65	6.60
	7	0.35 ~ 0.53	2.10	7	23	1.15 ~ 1.73	6.90
6ヶ月	8	0.40 ~ 0.60	2.40		24	1.20 ~ 1.80	7.20
	9	0.45 ~ 0.68	2.70		25	1.25 ~ 1.88	7.50
1	10	0.50 ~ 0.75	3.00	8	26	1.30 ~ 1.95	7.50
	11	0.55 ~ 0.83	3.30		27	1.35 ~ 2.03	7.50
2	12	0.60 ~ 0.90	3.60	9	28	1.40 ~ 2.10	7.50
	13	0.65 ~ 0.98	3.90		29	1.45 ~ 2.18	7.50
3	14	0.70 ~ 1.05	4.20	10	30	1.50 ~ 2.25	7.50
	15	0.75 ~ 1.13	4.50		31	1.55 ~ 2.33	7.50
4	16	0.80 ~ 1.20	4.80	32	1.60 ~ 2.40	7.50	
	17	0.85 ~ 1.28	5.10	33	1.65 ~ 2.48	7.50	
5	18	0.90 ~ 1.35	5.40	34	1.70 ~ 2.50	7.50	
	19	0.95 ~ 1.43	5.70	35	1.75 ~ 2.50	7.50	

<成分分量> 1g中:アセトアミノフェン 200mg

<性状> 芳香があり、味は甘く、のちに苦い淡橙色の細粒剤

<効能効果> (1)頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、
歯痛、歯科治療後の疼痛

(2)下記疾患の解熱・鎮痛

急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)

(3)小児科領域における解熱・鎮痛

<用法用量> 効能効果(1)の場合

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300~500mg、1日900~1500mgを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

効能効果(2)の場合

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300~500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。

また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

効能効果(3)の場合

通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10~15mgを経口投与する。

投与間隔は4~6時間以上とし、1日総量として60mg/kgを限度とする。

なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。

また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。